

2024年8月期 通期 決算説明資料

2024年11月20日 | 証券コード：9264

- 会社概要
- 2024年8月期通期連結業績
- 今後の成長戦略
- 2025年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

ポンプ・イクイップメント・エキスパート

Pump Equipment Expert

ポンプ装置の専門家

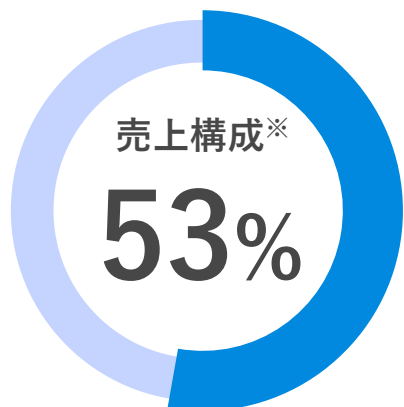
ポンプメーカー出身の創業者が
ポンプ装置に特化した会社を目指したことに由来。
現在では、社会インフラを支えるプロフェッショナル集団として、
ひと・みず・くうきに関するあらゆる分野での成長を目指す。

会社名	ポエック株式会社 Puequ Co., LTD.
代表者	代表取締役会長 来山 哲二 代表取締役社長 松村 俊宏
所在地	広島県福山市南蔵王町2-1-12
事業内容	1. ポンプ、送風機、空調機、工場設備機器の販売 2. 機器類修理、保守点検、設計施工 3. 防災機器の販売 4. 産業設備機器の販売
資本金	1,664,816,880円（2024年8月現在）
設立	1989年（平成元年）1月25日
従業員数	67名／連結263名（2024年8月現在）
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード 9264）
事業拠点	仙台・北陸・東京・名古屋・大阪・岡山・広島・福山・松山・高松・福岡

ひと・みず・くうきに関わるビジネスを展開

環境・エネルギー事業

環境・水処理機器の製造・販売・修理及びメンテナンス等技術サービス



取扱製品

環境関連機器

水処理機器（ポンプ類、攪拌機等）

環境改善機器

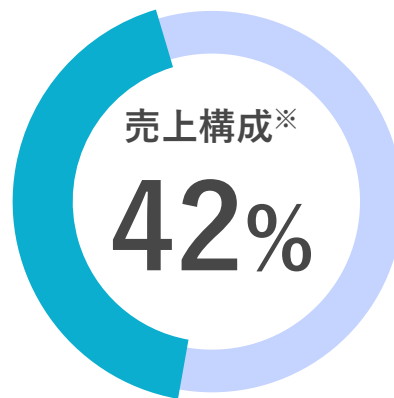
景観配慮型防潮壁（SEA WALL）、
オゾンガス発生装置、窒素ガス発生装置、
オゾン水製造装置、オゾン脱臭装置

エネルギー関連機器

プレート&シェル熱交換器

動力・重機等事業

船舶用機械及び部品、プラント関係機器及び
その他動力関係部品の製造・販売



取扱製品

船舶用機械及び部品

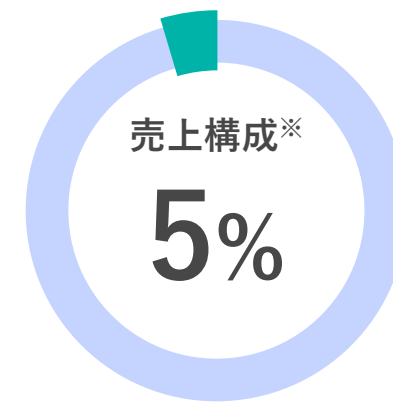
エンジン台板
小型精密部品（燃料噴射弁等）

プラント関係機器

ボイラー・圧力容器等

防災・安全事業

消火装置、その他消防機器の製造・販売・
設置装置の保守及びメンテナンス等技術サービス

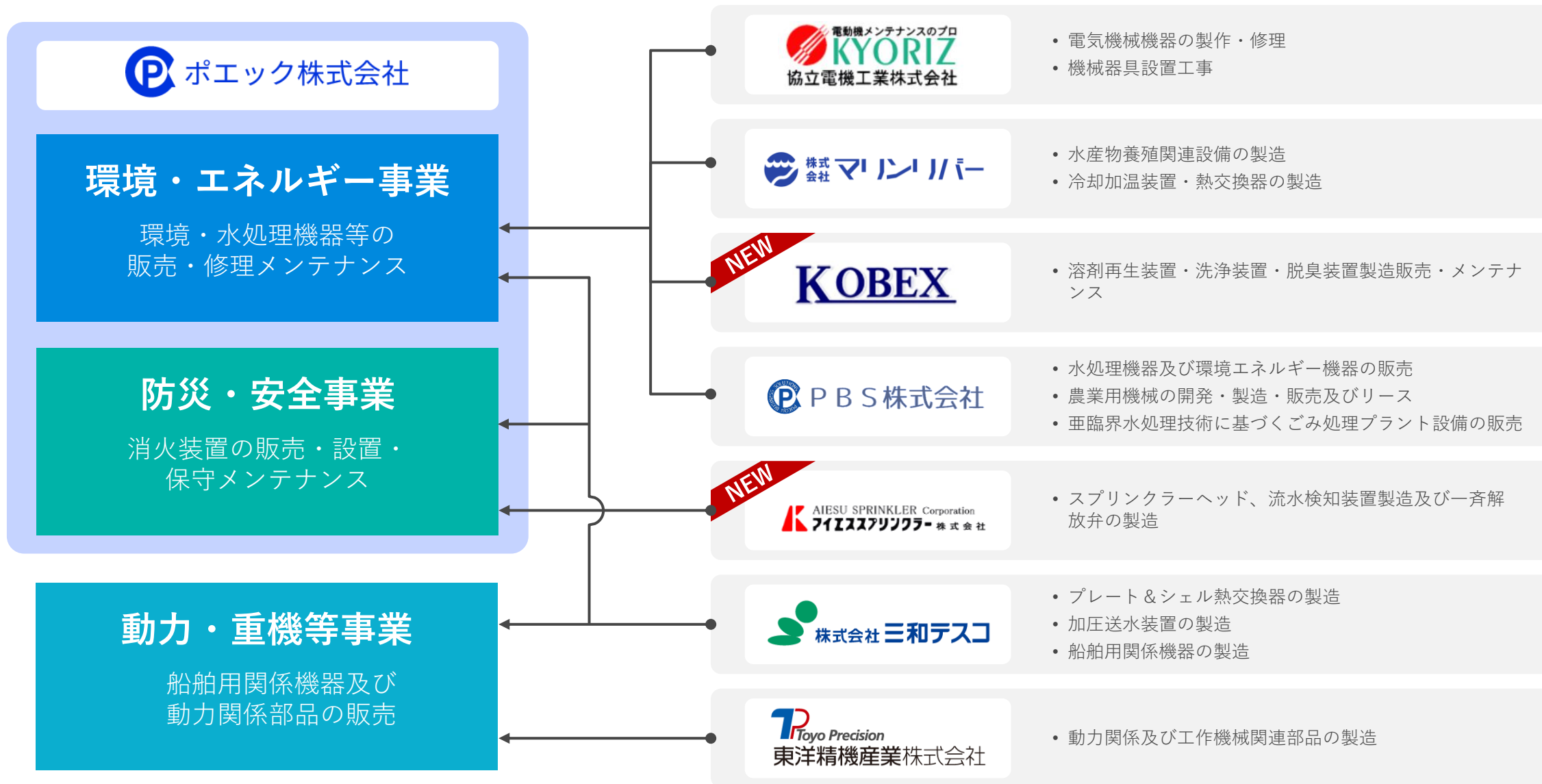


取扱製品

消防装置、その他消防機器

屋内・屋外消火栓
スプリンクラー消火設備用
加圧送水装置

当社と連結子会社7社でグループを構成

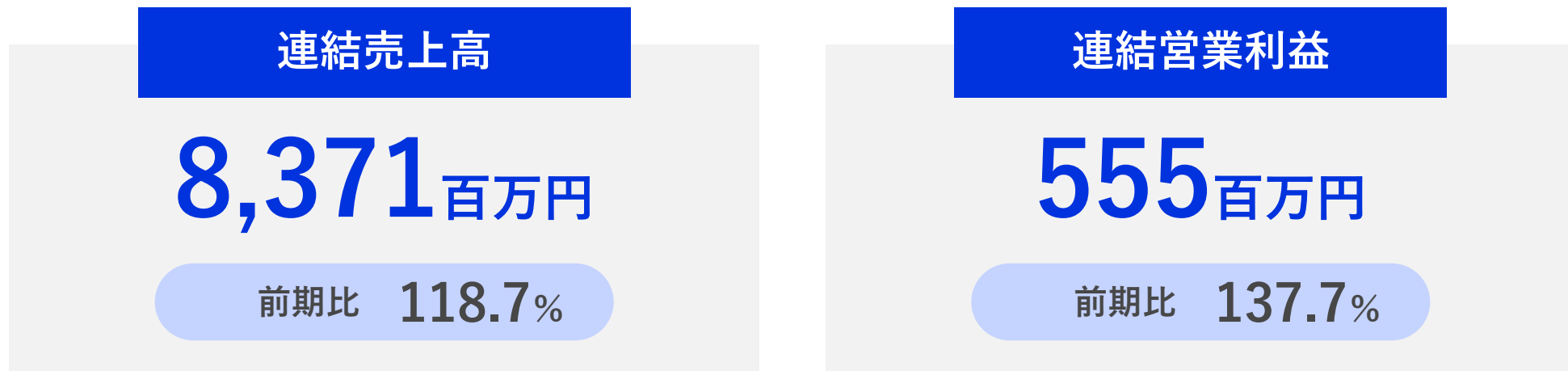


- 会社概要
- 2024年8月期通期連結業績
- 今後の成長戦略
- 2025年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

売上高・営業利益ともに、前期比2桁成長の大幅増収・増益



セグメント別売上高	環境・エネルギー事業	4,419百万円	前期比 114.7%
	動力・重機等事業	3,566百万円	前期比 129.5%
	防災・安全事業	385百万円	前期比 86.5%

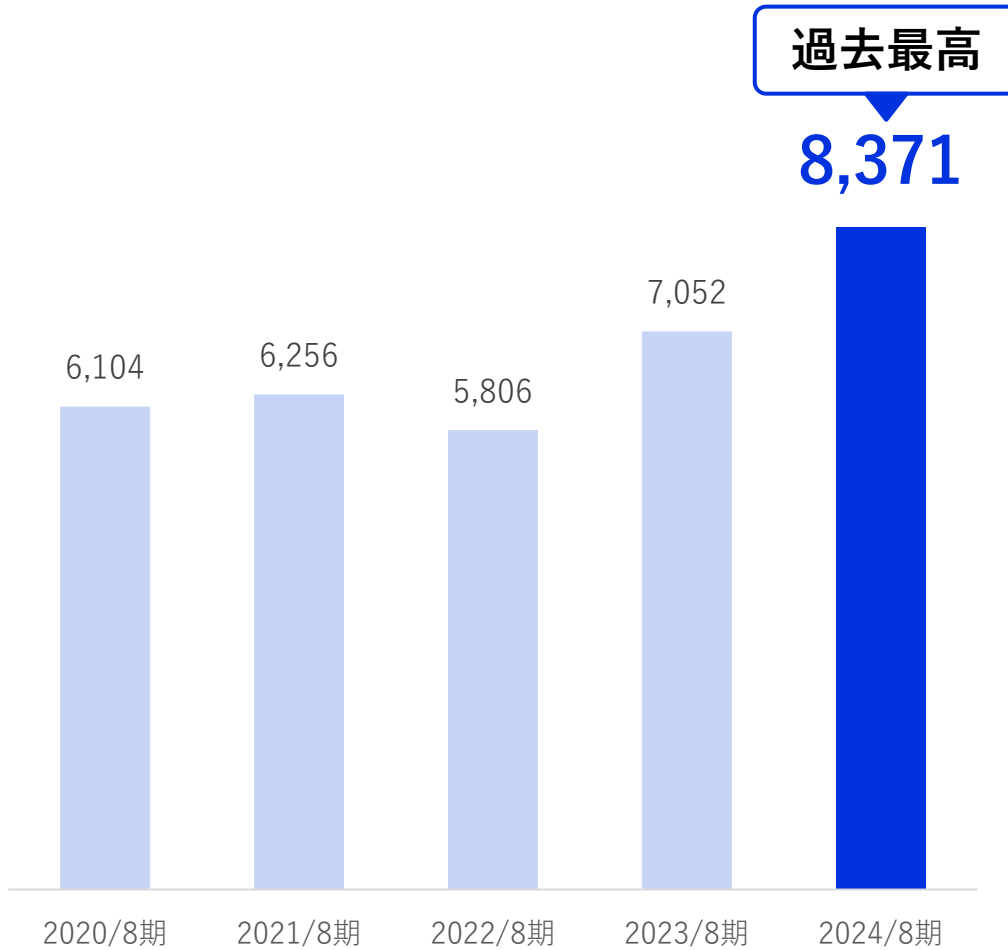
売上高は通期予想を上回って着地、営業利益は前期比+37.7%の増益

	2023/8期 実績		2024/8期 実績		前期比		(参考) 通期予想
	金額	売上比率	金額	売上比率	増減額	増減率	
売上高	7,052	-	8,371		1,319	118.7%	8,000
売上総利益	1,579	22.4%	1,992	23.8%	413	126.1%	-
販管費	1,176	16.7%	1,436	17.2%	260	122.2%	-
営業利益	403	5.7%	555	6.6%	152	137.7%	600
経常利益	419	6.0%	430	5.1%	11	102.6%	600
当期純利益	265	3.8%	195	2.3%	△70	73.8%	378
1株当たり 当期純利益 (円)	108.51	-	42.34	-	△66.17	-	82.80

売上高・営業利益ともに過去最高を更新

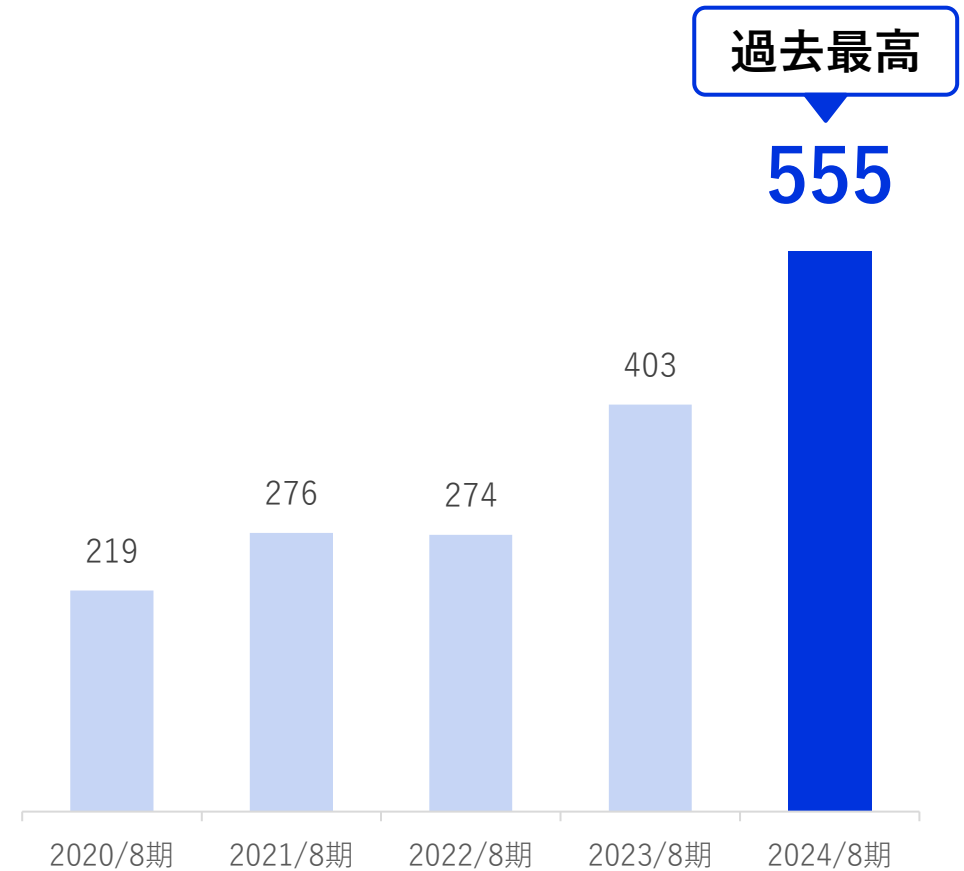
売上高

単位：百万円



営業利益

単位：百万円



「環境・エネルギー事業」と「動力・重機等事業」が前期比大幅増収・増益

	2023/8期	2024/8期	前期比	2024/8期	予想比
	実績	実績		予想	
単位：百万円					
環境・エネルギー事業					
セグメント売上高	3,852	4,419	114.7%	4,028	109.7%
セグメント利益	217	233	107.4%	-	-
利益率	5.6%	5.3%	△0.3pt	-	-
動力・重機等事業					
セグメント売上高	2,754	3,566	129.5%	3,789	94.1%
セグメント利益	280	478	170.2%	-	-
利益率	10.2%	13.4%	+3.2pt	-	-
防災・安全事業					
セグメント売上高	445	385	86.5%	182	211.7%
セグメント利益	19	57	292.3%	-	-
利益率	4.4%	15.0%	+10.6pt	-	-

セグメント売上高

4,419百万円

前期比 114.7%

セグメント利益

233百万円

前期比 107.4%

- ポンプ等水処理機器の卸販売事業は、前期から引き継いだ**大型受注や、新規取引先**へのアプローチも進んだことから順調に推移
- 養殖設備機器（海水用冷却装置）の製造販売事業は、**堅調な需要により増収・増益**に寄与
- 産業用モーター修理事業は、**モーター修理需要の増加**により、新規引き合いおよびリピート客を順調に獲得
- 2024年4月に子会社化した**コーベックス株式会社の業績の一部が組み込まれた**ことによる増収効果もあり
- 成長戦略として新規事業への投資や海外戦略を目的とした人材投資を進めたことで販管費が増加したことにより、売上高の伸び率に対し利益の伸び率はやや鈍化

セグメント売上高

+567百万円
114.7%

3,852

4,419

2023/8期

2024/8期

セグメント利益

+16百万円
107.4%

217

233

2023/8期

2024/8期

セグメント売上高

3,566百万円

前期比 129.5%

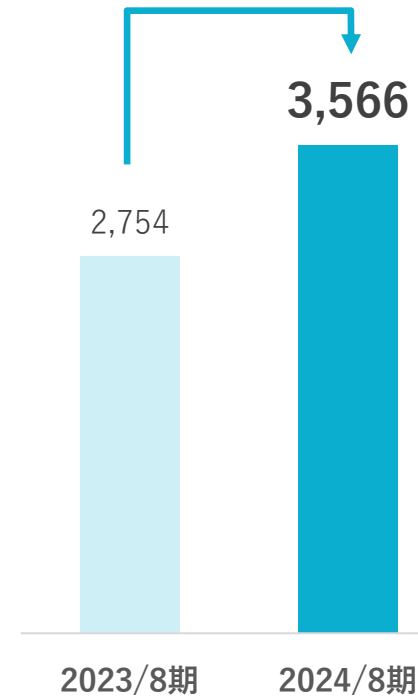
セグメント利益

478百万円

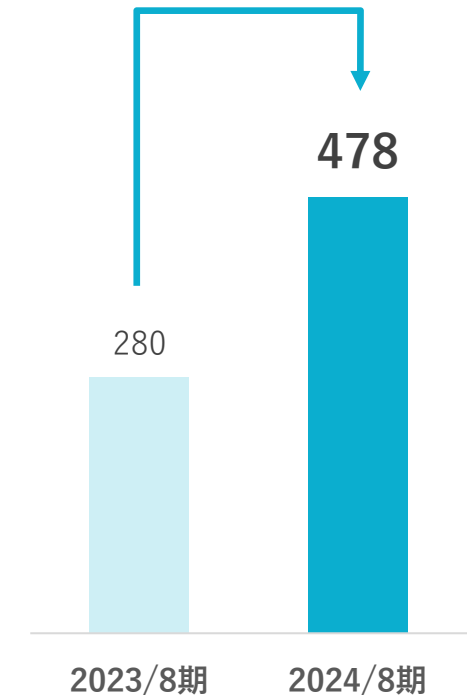
前期比 170.2%

- 船舶用エンジン市場及び工作機械関連市場の需要が堅調に推移していること、および**大型受注や新たな営業チャネル開拓**ができたことから、大幅な増収
- **生産量増加により単価あたりの製造コストを抑える**ことができたこと、および生産工程の見直しによる業務効率化や適正な原価価格維持のコスト戦略などにより利益率が改善

セグメント売上高

+812百万円
129.5%

セグメント利益

+198百万円
170.2%

セグメント売上高

385百万円

前期比 86.5%

セグメント利益

57百万円

前期比 292.3%

- 新型コロナウイルス感染症の経済的影響は終息してきたものの、病院・福祉施設等の設備投資意欲は低調なため、当社の主要商材である自社製品スプリンクラー消火装置「ナイアス」の販売が低調に推移
- 当社の経費以外の共通経費を、当社グループ全体の売上高比で按分する方法なため、本セグメントの経費按分が減少したことにより、セグメント利益は増加

セグメント売上高

△60百万円
86.5%

445

385

2023/8期

2024/8期

セグメント利益

+38百万円
292.3%

19

57

2023/8期

2024/8期

単位：百万円	2023/8期末	2024/8期末	前期末比	増減額
流動資産	5,196	5,632	108.4%	+436
現預金	2,698	2,067	76.6%	△631
固定資産	4,581	5,718	124.8%	+1,137
有形固定資産	3,597	4,045	112.5%	+448
資産合計	9,777	11,350	116.1%	+1,573
流動負債	3,536	4,692	132.7%	+1,156
固定負債	2,277	2,544	111.7%	+267
負債合計	5,814	7,236	124.5%	+1,422
株主資本	3,966	4,109	103.6%	+143
資本金	1,615	1,664	103.0%	+49
資本剰余金	1,473	1,522	103.3%	+49
利益剰余金	877	922	105.1%	+45
純資産合計	3,963	4,114	103.8%	+151
負債純資産合計	9,777	11,350	116.1%	+1,573

自己資本比率	
2023/8期	40.5%
2024/8期	36.2%

ROA（総資本利益率）	
2023/8期	2.71%
2024/8期	1.72%

ROE（自己資本利益率）	
2023/8期	8.0%
2024/8期	4.8%

子会社株式の取得により、投資活動よるCFがマイナスに

単位：百万円

	2023/8期	2024/8期	増減	内容
営業活動によるCF	251	33	△218	<ul style="list-style-type: none"> ・売上債権の増減 △724 ・法人税等の支払 △143 ・税金等調整前当期純利益 345 ・減価償却費 185
投資活動によるCF	△275	△1,254	△979	<ul style="list-style-type: none"> ・連結の範囲の変更を伴う 子会社株式の取得による支出 △881
財務活動によるCF	1,130	574	△556	<ul style="list-style-type: none"> ・長期借入の返済による支出 △1,165 ・長期借入金による収入 1,250 ・短期借入金の純増減額 649
現金及び現金同等物の増減	1,107	△647	△1,754	
現金及び現金同等物の期末残高	2,274	1,626	△648	

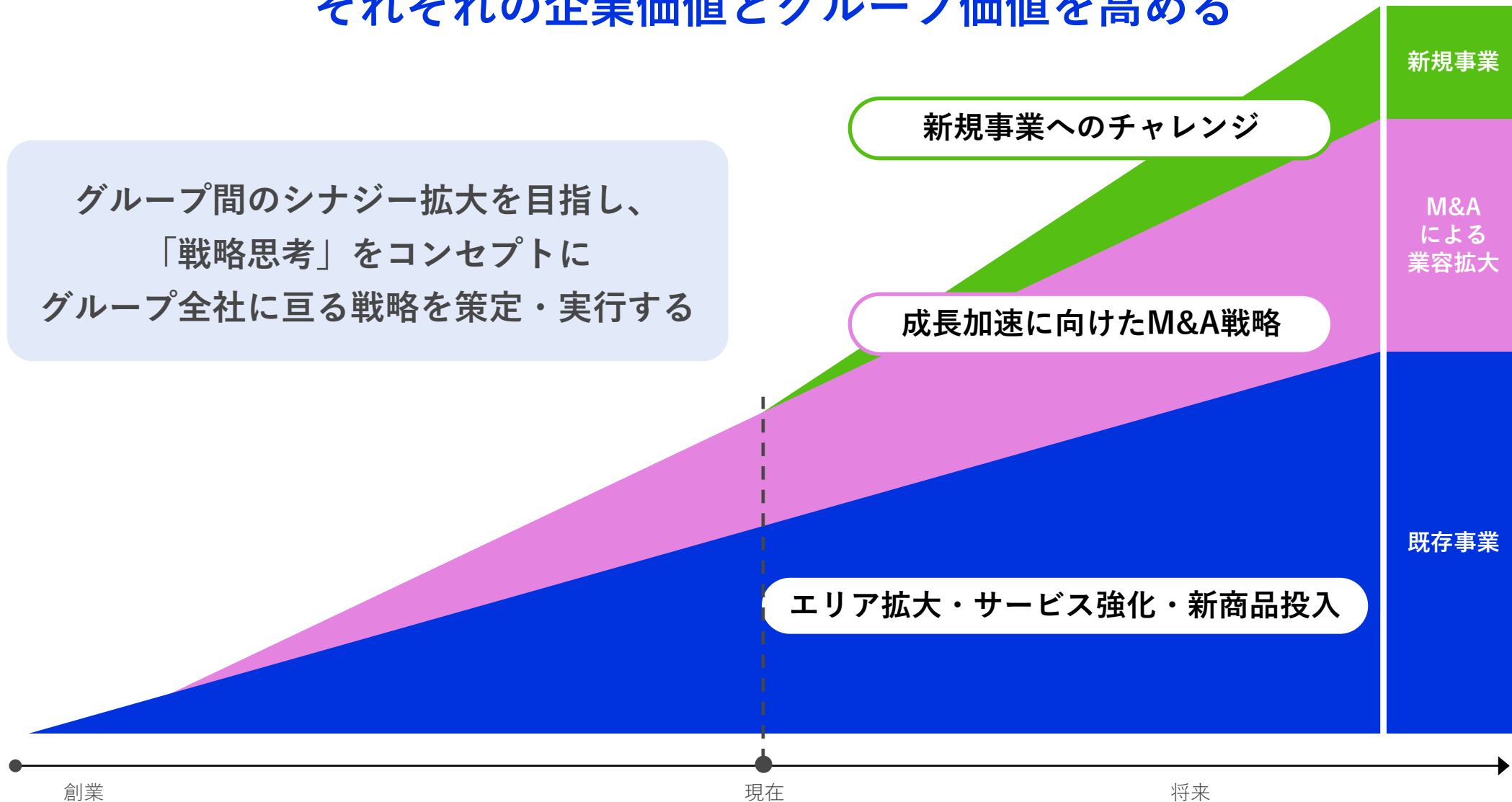
- 会社概要
- 2024年8月期通期連結業績
- 成長に向けての今期の施策
- 2025年8月期通期連結業績見通し
- Appendix

会社概要

参考資料、その他

ひと・みず・くうきにかかわる事業（ビジネス）に投資・育成し、 それぞれの企業価値とグループ価値を高める

グループ間のシナジー拡大を目指し、
「戦略思考」をコンセプトに
グループ全社に亘る戦略を策定・実行する



2024年8月期には2件のM&Aを実行、「技術を見つけ、育て、活かす」M&A戦略

既存事業の強化・拡大に向けてのM&A

<p>当社初のM&A - ポンプ事業強化 山尾産業(株)より水処理部門の営業権を取得し、ポンプ事業強化</p>	1997
<p>製造拠点の拡大 / 動力・重機等事業スタート 当社企画・開発製品の製造拠点とすることを目的として、独自の製缶・溶接技術を保有する(株)三和テスコを子会社化し、メーカー機能を強化</p>	2003
<p>製造技術力強化 グループの製造技術補完のため、一貫生産体制で高品質な精密機械加工及び熱処理に強みを持つ東洋精機産業(株)を子会社化</p>	2008
<p>販売チャネル拡大と人材強化 セイブ(株)より営業権を譲り受け、販売チャネルと人材を獲得</p>	2011
<p>「ナィアス」製造工程の一部内製化 過去より外注委託取引のあった三和テスコとの連携による経営効率化及び相乗効果を目的として(株)ミモトを子会社化（2020年に三和テスコと合併）</p>	2019
<p>関東地方進出の足掛かり 販路拡大、関東圏での受注拡大のため機器メンテナンス・修理に強みを持つ協立電機工業(株)を子会社化</p>	
<p>NEW 防災事業強化 防災事業の当社製品「ナィアス」とのシナジー効果を目的とし、スプリンクラー専門メーカーのアイエススプリンクラー株式会社を子会社化</p>	2024

新規事業展開に向けてのM&A

<p>オゾン脱臭装置事業へ参入 (株)オーゼットよりオゾン脱臭装置の営業権、製造権、特許権を取得</p>	2002
<p>水中攪拌機製造技術の取得 オガタ工業(株)より水中攪拌機の営業権及び製造権を譲り受け、攪拌機製造技術を取得しメーカー機能を強化</p>	2009
<p>陸上養殖装置事業へ参入 製造面でのシナジーおよび販売面でのクロスセルを目的として、養殖設備製造ニッチトップ企業の(株)マリンリバーを子会社化</p>	2021
<p>NEW 有機溶剤の回収・リサイクル装置事業へ参入 有機溶剤の回収・リサイクルシステムにおいて高い技術と実績を持つコーベックス株式会社を子会社化</p>	2024

2024年8月期 M&A

2024年4月 子会社化

KOBEX

有機溶剤の総合装置メーカー

主力製品	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場や研究施設から排出される有機溶剤の回収・リサイクルシステム (印刷インキや塗料の製造工程で使用された溶剤等を回収し、再利用可能な状態に浄化する装置)
特徴	<ul style="list-style-type: none"> ● 従来の蒸留方式に比べてCO2排出量を大幅に抑制、ランニングコストも大幅に削減できる (特許取得技術)
主要顧客・市場性	<ul style="list-style-type: none"> ● 印刷、自動車、電機、化学等の製造業を中心とした大手企業など ● 設備投資コストが少ないため、中小のメーカーも導入 ● 環境対策の重要性の高まりから、販売好調。売上高は年率10%で成長中
海外展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在は、売上高の25%が海外向け ● タイ、インドネシア、ベトナムでの営業活動を本格化させるための基盤として、2023年に東南アジア（シンガポール）に現地拠点を開設 ● 新興国では製造業の発展に伴い排出規制が強化される見込みのため、需要増が期待できる

当社グループ事業

環境・エネルギー事業

環境・水処理機器等の
販売・修理メンテナンス

+

KOBEX



「環境創造企業」としての
ソリューションを増強

2024年8月期 M&A

2024年7月 子会社化



スプリンクラーヘッドや流水検知装置などを主力とした防災機器専門メーカー

<p>主力製品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 消火用スプリンクラーヘッド 
<p>強み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 耐衝撃性能に優れる特徴から、工業施設や高層階の商業ビルなどで導入が加速している

当社グループ事業

防災・安全事業

消火装置「ナイアス」



- **世界初 圧力水槽方式（窒素加圧）**
窒素ガスの圧力により、タンク内の水を安定供給する世界初の消火装置
- **災害時に電気・水道がストップしてもOK**
窒素ガスの圧力で送水するので、電気や水道がストップしても確実にスプリンクラーを作動可能
- **水槽内の水は非常用にも使用可能**

+



防災・安全事業におけるラインナップ増強

既存事業を活用し、環境問題などの社会的課題を解決する 新規事業へチャレンジ

1

当社および当社グループの
技術が活用できる事業

当社の36年のポンプ事業の
技術および子会社が保有する
精密機器/電気機器/
熱交換器等の技術を
生かせる事業

2

社会的課題を
解決する事業

「脱炭素化」
「世界的な食糧危機への対策」
「地球温暖化対策」などの
社会的課題を解決する事業

3

新規性（競合がないまたは優位性）
がある事業

競合とは異なる視点で、
社会的課題を解決する
ソリューションを提供

水耕栽培向け栽培装置



- 当社と民間シンクタンクの連携で開発した機能性微細気泡（ファインバブル・ナノバブル）発生農業システムを使用
- LED照明、自動農薬散布、自動散水温度管理などの栽培システム全体を提供

2023年8月期にライツ・オフアリングにて調達した資金にて、栽培装置の製造設備への投資および実証用温室（ビニールハウス）の建設をおこない、実用に向け、現在実証実験中。

亜臨界水プラント向け 高温高圧器設備



三和テスコが有する「溶接」「加工」「組立」の技術を活用し、プラントの心臓部ともいえる高圧高温設備を開発中

亜臨界水プラントとは

- 亜臨界水処理技術による廃棄物処理施設
- 従来の廃棄物焼却で問題となっていないダイオキシン・CO2を発生させない処理施設として注目されている

経済産業省による「中堅・中小企業の賃上げに向けた省力化などの大規模成長投資補助金」のテーマとして採択が決定。

開発および本格生産に向けて人材等への投資をおこなっていく。

トルクオン ベルトコンベアローラ損傷検知装置



- ベルトコンベアローラのベアリングの損傷をいち早く検知する技術
- ベルトコンベアの火災事故等を未然に防ぎ、安全な工場環境を維持
- ベルトコンベア点検の合理化や危険な場所での点検作業の削減も可能に

商品化に向けて大手ユーザの協力のもと、発電所や製鉄所で実証実験中。

- 会社概要
- 2024年8月期通期連結業績
- 今後の成長戦略
- 2025年8月期通期連結業績見通し

- Appendix

会社概要

当社の強み

参考資料、その他

売上高前期比125.4%、営業利益同180.1%の成長を目指す

単位：百万円

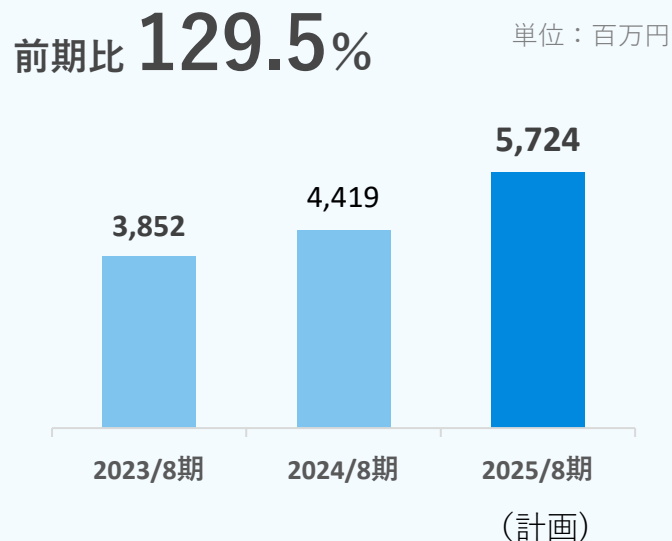
	2023/8期 実績		2024/8期 実績		2025/8期 業績予想		前期比
売上高	7,052	-	8,371	-	10,500	-	125.4%
環境・エネルギー	3,852	-	4,419	-	5,724	-	129.5%
動力・重機等	2,754	-	3,566	-	3,818	-	107.0%
防災・安全	445	-	385	-	957	-	248.4%
営業利益	403	5.7%	555	6.6%	1,000	9.5%	180.1%
経常利益	419	6.0%	430	5.1%	1,000	9.5%	232.2%
当期純利益	265	3.8%	195	2.3%	600	5.7%	306.5%
1株当たり 当期純利益（円）	108.51	-	42.34	-	129.05	-	-

堅調な需要による増収、および新規子会社2社分の上乗せにより、大幅増収を見込む

環境・エネルギー事業

売上計画 **5,724**百万円

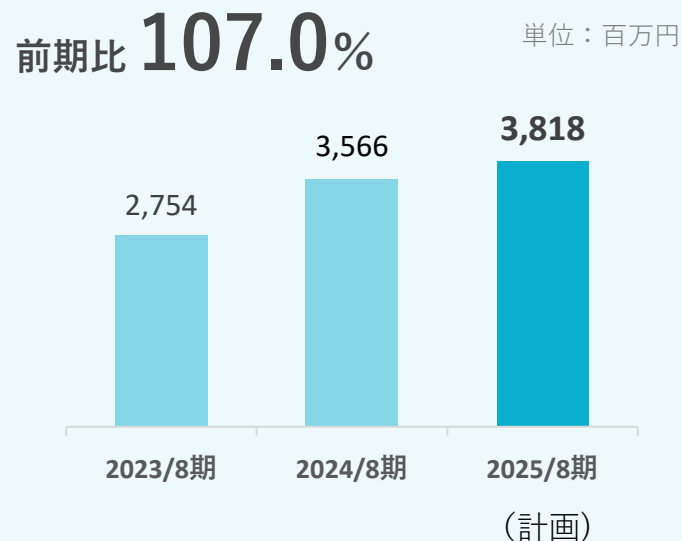
- ポンプ等の水処理機器及びその保守・メンテナンス等の需要は安定的に推移する見込み
- ブレ幅の大きい大型受注案件は実績計上の確度が高い案件のみ計画に計上
- 2024年4月に子会社となったコーベックス株式会社の売上高を組み込んだ計画



動力・重機等事業

売上計画 **3,818**百万円

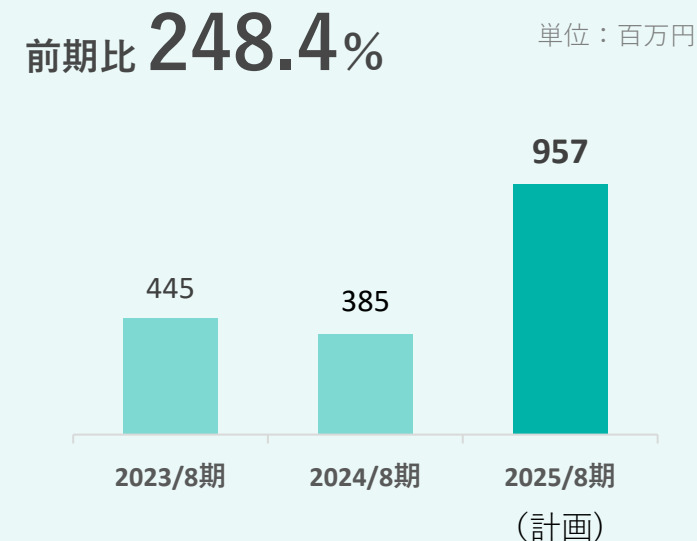
- 船舶用エンジン台板や精密部品、プラント関連機器の受託製造については大手メーカーからの安定受注を見込む
- 前期から持ち越しの大型受注案件は、実績計上の確度が高い案件のみ計画に計上



防災・安全事業

売上計画 **957**百万円

- 2024年7月より当社子会社となったアイエスプリンクラー株式会社の売上高を組み込んだ計画
- アイエスプリンクラーの販路を活用することで、当社既存商品の営業拡大を見込む



19期連続で配当実施

株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、成長と株主還元を両立。
 2024/8期は大幅増配とし、1株当たり年間配当金53円（普通配当43円及び特別配当10円）を実施。
 2025/8期は財務体質の安定に配慮しつつ株主への還元を重視し70円に増配する予定。

	2023/8期	2024/8期	2025/8期 予想
1株当たり配当金	33円	53円	70円
連結配当性向	30.4%	125.2%	54.2%

- 会社概要
- 2023年8月期通期連結業績
- 今後の成長戦略
- 2024年8月期通期連結業績見通し

- **Appendix**

会社概要

参考資料、その他

「お客様第一主義」

世界に通用する技術・商品の開発
社員一人一人、個性の尊重及び力の結集
社会の変化を先取りし、自らも進化する
これらのことを総合し、企業価値の増大を図る

ビジョン

誰もが欲しがる
「凄い技術とサービス」の
創造企業

ミッション

- 役職員とその家族の幸せ
- お客様の満足
- 株主への還元
- ステークホルダーと共に成長し良好な関係を維持
- 住みよい社会と環境

経営方針

投資・育成・成長サイクルを通じて
グループビジョンの実現に向けた
経営戦略を実行

約束

- コンプライアンスとモラルの向上
- 「安全」と「環境」への配慮
- 革新と変化へのチャレンジ

ポンプ専門商社として創業、現在では水と空気に重点を置いた 環境装置全体に分野を拡大

ポンプ専門商社としてスタート >> ポンプメンテナンスシェア中国地方トップレベル・事業の多角展開 >> 成長期待事業への投資・株式公開・M&Aによるグループ力の拡大

環境・エネルギー事業

防災・安全事業

動力・重機等事業

環境・エネルギー事業

1991
ポエック(株)に商号変更

2014
富山県富山市にて(株)アムノス設立
「ハイパードライ羊膜」の開発及び事業化推進

2017
東京証券取引所JASDAQ
(スタンダード)市場上場

1989
広島県福山市にて五大販売(株)
(現ポエック(株))を設立

1998
「ナィアス」日本消防設備
安全センター認定品認定

2007
子会社(株)三和テスコでフィンランドのパーテルス社製
プレート&シェル熱交換器の国内独占製造販売権を取得

2015
(株)アムノスを
関連会社へ移行

2020
(株)三和テスコと(株)ミモト吸収合
併(存続会社：(株)三和テスコ)

1989 1991 1997 1998 2002 2003 2007 2008 2009 2011 2014 2015 2017 2019 2020 2021 2024

1997
山尾産業(株)より水処理
部門の営業権を譲受

2002
(株)オーゼットより営業権、製
造権、特許権を譲受
オゾン脱臭装置の販売を開始

2008
東洋精機産業(株)子会社化
(現連結子会社)

2011
セイブ(株)より営業権を譲受

2019
(株)ミモト
連結子会社化

2021
(株)マリソリバー
連結子会社化

2024
コーベックス(株)
連結子会社化

2003
(株)三和テスコ子会社化
(現連結子会社)
動力・重機等事業をスタート

2009
オガタ工業(株)より水中攪拌機の営業権、
製造権を譲受

2019
協立電機工業(株)
連結子会社化

2021
AS(株)(現PBS株
式会社)設立

2024
アイエスプリン
クラー(株)
連結子会社化

M&Aによる事業拡大を加速

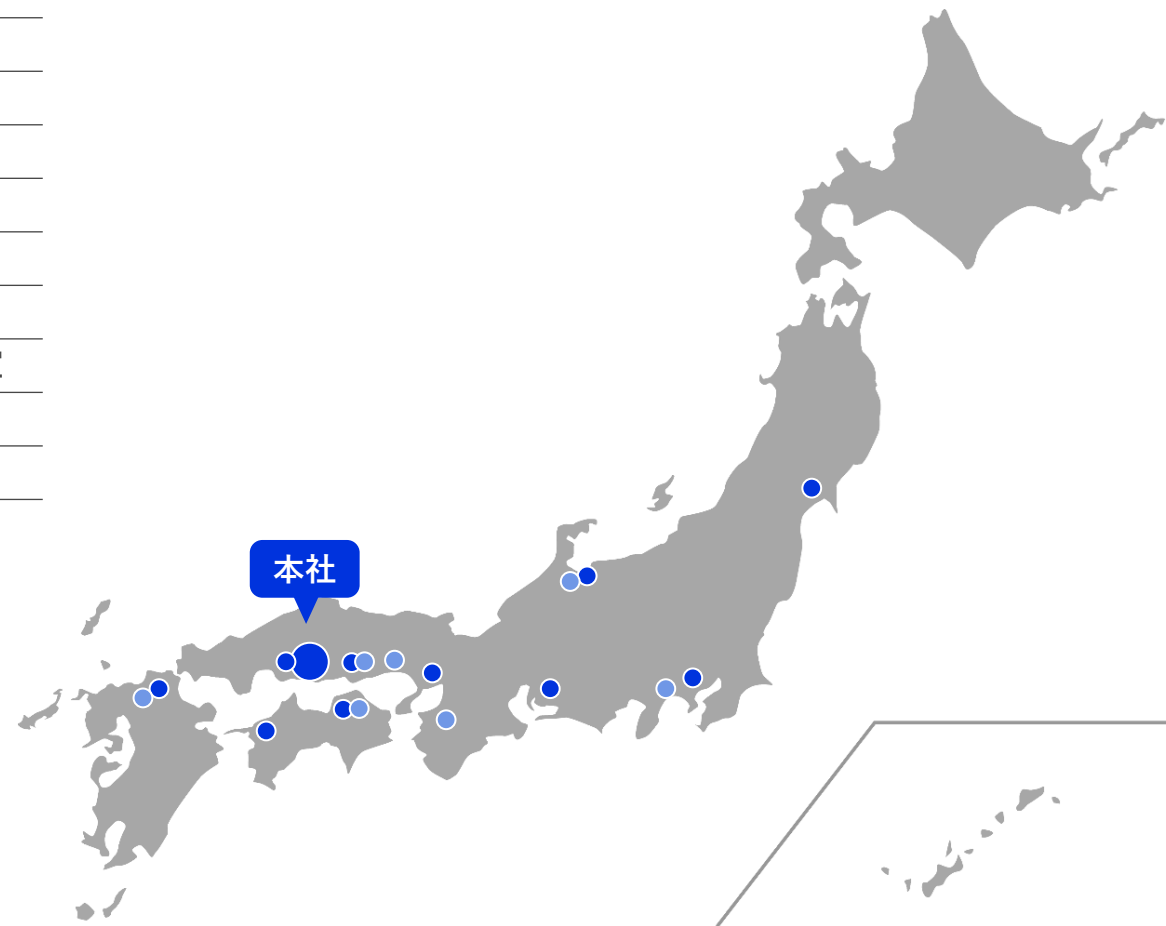
全国9営業所、2出張所、連結子会社7社で事業を展開

事業所

本社福山営業所	広島県福山市南蔵王町2-1-12
東京営業所	東京都中央区日本橋小舟町15-17 日本橋協栄ビル4F
仙台営業所	宮城県仙台市太白区西多賀3-7-38 ディライト西多賀103
北陸営業所	富山県富山市高田527 4F
名古屋営業所	愛知県清須市阿原星の宮189-1 アクティブ星の宮 A号室
大阪営業所	大阪府大阪市東淀川区東中島 5丁目 6 - 8
岡山営業所	岡山県岡山市南区新保1308-2
広島営業所	広島県広島市西区中広町3-18-21 コーポラスナガイ102
福岡営業所	福岡県太宰府市国分1-1-41 オフィスパレア太宰府III 1号室
高松出張所	香川県高松市朝日町4-11-67
松山出張所	愛媛県松山市中村5-3-15 マッピーテナント B号室

連結子会社

株式会社三和テスコ	香川県高松市	出資率100%
東洋精機産業株式会社	岡山県岡山市	出資率100%
協立電機工業株式会社	神奈川県茅ヶ崎市	出資率100%
株式会社マリンリバー	福岡県糟屋郡	出資率100%
PBS株式会社	富山県下新川郡	出資率100%
コーベックス株式会社	兵庫県神戸市	出資率100%
アイエスプリンクラー株式会社	和歌山県橋本市	出資率100%



- 会社概要
- 2024年8月期通期連結業績
- 今後の成長戦略
- 2025年8月期通期連結業績見通し

- **Appendix**

- 会社概要

- 参考資料、その他

高い専門性 × 対応力 × エリア拡大 = ポエックの総合力



豊富な経験に裏付けされたポンプに関する高い専門性

幅広い分野からの依頼に応えてきた経験豊富な熟練技術者が多く在籍し、高い専門知識を保有

あらゆるポンプを知り尽くした幅広い対応力

ビル、工場、病院、学校、マンションなどの各種施設、
汚水処理用、防災用、排水用、スプリンクラー用など、各用途
また全メーカーのポンプにワンストップで対応可能
新規販売・買い替え・修理メンテナンスの全てのニーズに対し
スピーディーにソリューションを提供

広範囲をカバーする組織的なメンテナンス体制

全国 9事業所、2出張所、連結子会社で展開
今後さらにカバーエリアを拡大

革新的な環境・防災機器により持続可能な社会の実現に貢献

- 政府の掲げる防災・減災、国土強靱化対策需要の高まりにより、今後拡大が期待される市場
- 気候変動の影響により激甚化・頻発化する気象災害や、切迫化する大規模地震に備え、被害を防止・最小化するための環境・防災機器の開発・製造・販売を推進

停電・断水時も作動する消火装置「ナイアス」

BCP

防災

消防法によりスプリンクラー消火設備の設置義務のある病院や福祉施設を中心に販売拡大



福祉施設（スプリンクラー設備）

海沿いの景観と安全を守る防潮壁「SEAWALL」

津波

高潮

推進協議会の代表企業として取扱強化
港湾の津波対策事業の推進に伴い受注増加



兵庫県芦屋市 南芦屋浜

電力を使用せず、窒素ガスで加圧することで安定した散水を可能にし、 災害時に水道や電気が停止しても作動

世界初の 圧力水槽方式（窒素加圧）

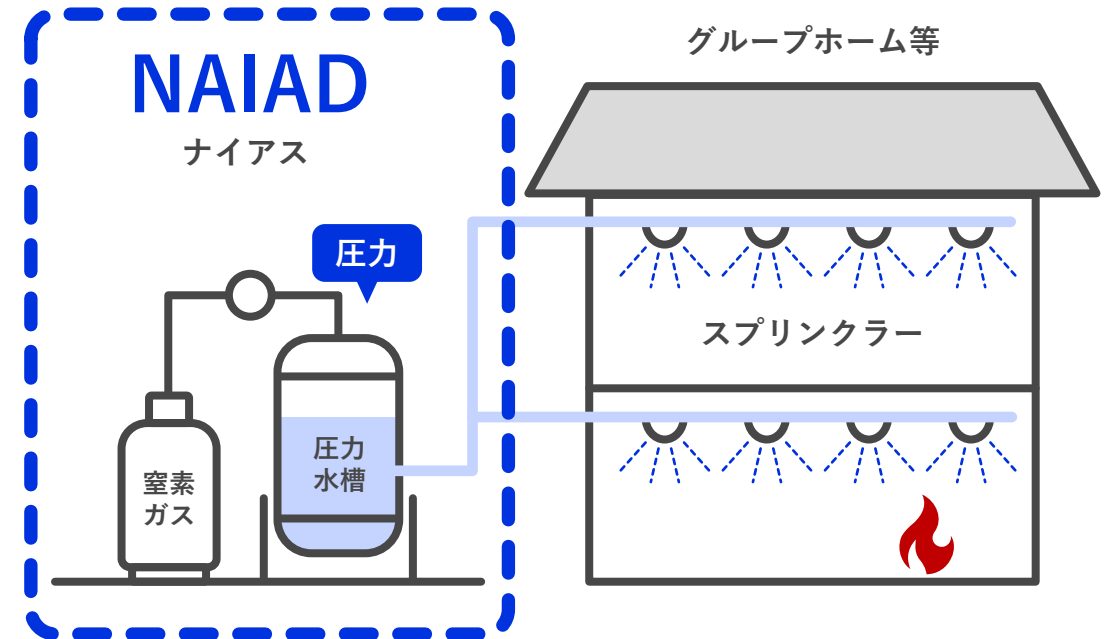
窒素ガスの圧力により、タンク内の水を安定供給する世界初の消火装置

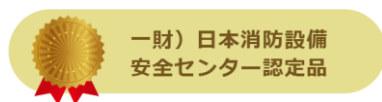
災害時に電気・水道がストップしてもOK

窒素ガスの圧力で送水するため、停電・断水時も確実にスプリンクラーを作動させることが可能

水槽内の水は非常用にも使用可能

水槽内の水は窒素ガスで封印されているため、水が腐敗せず、地震・災害時には、非常用として使用が可能（飲用は不可）





1998/1	当社製品「ナイアス」	一般財団法人日本消防設備安全センター評定品
2002/5	当社製品「ナイアス」	第10回中国地域ニュービジネス大賞を受賞
2003/1	当社製品「ナイアス」	第13回ニュービジネス大賞優秀賞を受賞
2006/7	当社製品「環銘」	経済産業省新連携事業認定
2009/9	当社製品「ナイアス」 NAP-M2400S	日本消防設備安全センター認定品※1
2012/2	当社製品「ナイアス」	第4回「ものづくり日本大賞」優秀賞受賞

※1 2009年9月以降、「ナイアス」NAP13N・NAP-M1200S・NAP6N・NAP-M2400・NAP16N・NAP20N・NAP-M3200が順次、財団法人日本消防設備安全センターの認定品となる

水辺の景観に配慮しながら、津波や高潮発生時に防潮壁の向こう側の様子を伝え、 地域住民の安全を守る

防潮壁設置数増加の背景

東日本大震災以降、水辺の安全確保に対する関心の高まりに伴い、想定水位が従来以上に高く設定され、防潮壁設置数が増加。

防潮壁設置による課題

- 圧迫感のある壁により景観を損なわれる
- 水辺情報の遮断が避難の遅れを引き起こす危険性

ポエックのソリューション

津波対策の問題と地域住民のニーズに応え、
景観と命を守る景観配慮型防潮壁「SEAWALL」

IRメール配信サービスについて

ご登録いただくと、当社ウェブサイトに掲載される最新のIR情報を公表と同時にメール受信いただけます。



IRメール配信登録

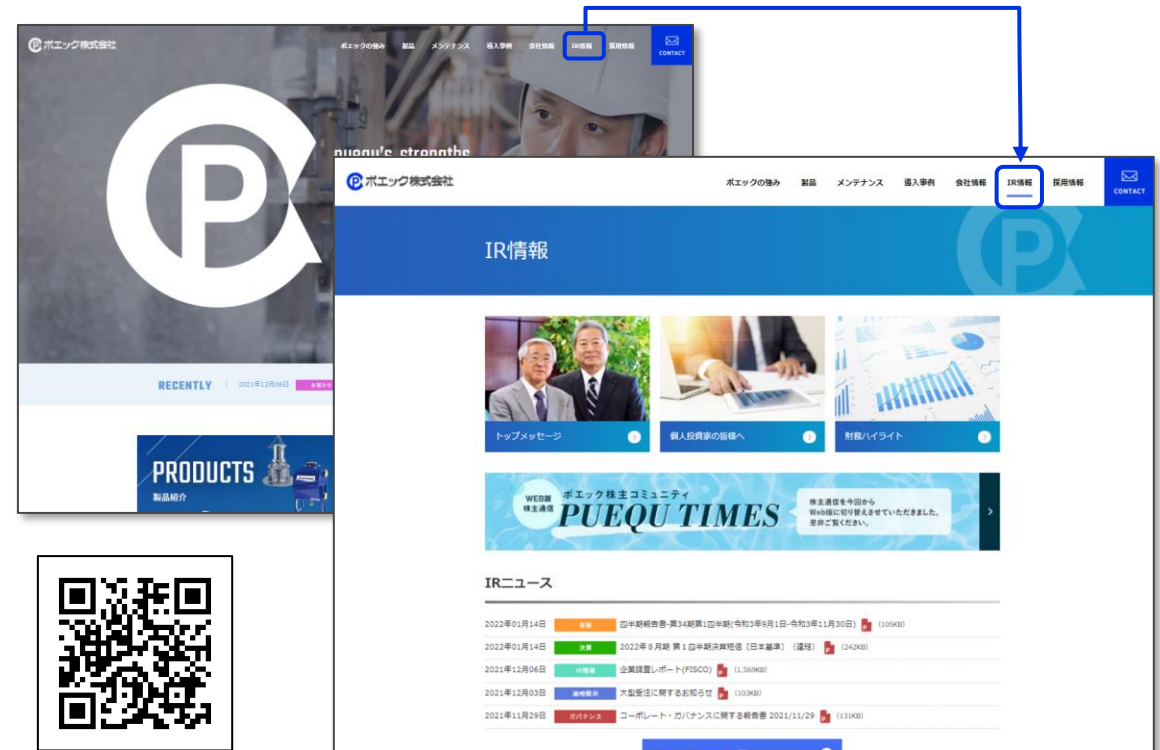
<https://www.magicalir.net/9264/mail/index.php>

Web版株主通信 PUEQU TIMESについて

環境負荷低減の観点より、2021年8月期期末より株主通信の紙面印刷・郵送を取り止め、当社ウェブサイトへの掲載に切り替えました。年2回（期末・中間）更新しておりますので、ぜひご覧下さい。

当社ウェブサイトIR情報ページについて

当社についてよりご理解を深めていただけるよう、IR情報ページにて積極的に情報開示を行っております。



IR情報トップページ

<https://www.puequ.co.jp/ja/ir.html>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがございます。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

なお、本資料の金額及び比率については、特に記載のない場合、以下のとおりです。

表示単位：百万円（単位未満切捨）

比率については円単位にて算出し、小数第一位未満を四捨五入

